



▲タイムカプセルに入れたメッセージを読み上げる猪股さん



▲泉区では願いを込めたランタナが夜空に舞い上がりました

市政トピックス

新たなにぎわいづくりー榴岡公園で社会実験が始まりました

市では、10月から榴岡公園の活性化を目指す社会実験を開始しました。この取り組みは、仙台駅東口の企業や事業者等で構成される「仙台駅東まちづくり協議会」と連携し、榴岡公園の新たなにぎわいの創出とサービスの向上を図ることを目的に、来年の3月まで実施します。市内公園での半年間にわたる社会実験は初めての試みです。



▲澄み渡る青空の下、ドッグランで犬を遊ばせたり、フィットネス教室で汗を流したりするなど、多くの人でにぎわっていました。(冬期は一部サービスを休止して開催)

期間中、公園の植栽地の一部に

市政トピックス

ドッグランを設置するほか、石畳テラスにはバーベキュー会場なども整備。さらに、芝生広場でのヨガなどの健康づくり教室を開催したり、遊具の貸し出しを行ったりするなど、公園を訪れた方々が世代を問わず楽しめるよう、さまざまなサービスを提供しています。休日には、キッチンカーも複数出店。緑に囲まれた公園では、芝生の上で飲食を楽しむ、くつろぐ方々や、パドミントンの用具を借りて遊ぶ家族連れなど、多くの方が榴岡公園の新しい魅力を満喫していました。

期間終了後には、社会実験の検証や、民間パートナーとの連携による榴岡公園の運営の在り方などの検討を進め、公園を核とした都市の魅力向上に向けた取り組みを推進していきます。

市政トピックス

私たちにできるまちづくりを考える

10月31日、「みんなのまちづくりフォーラム2021」をオンラインで開催しました。これは「新たな杜の都へのチャレンジャー The Greenest City」

市政トピックス

区民まつり代替イベントが各地で開催されました

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止になった区民まつりの代替イベントが、青葉区、若林区、泉区、宮城地区で開催されました。

青葉区では、11月3日に区民まつりの再開のモデルとなるイベントを目指し「あおばまるごと秋まつりー青葉のたまたま箱2001ー」が、勾当台公園市民広場で行われました。当日は、入場口を1カ所に制限し、来場者の登録や検温を行うなどの感染対策を講じて開催。オープニングでは、20年前の区民まつりで作成したタイムカプセル「青葉のたまたま箱」を開封するセレモニーが行われました。当時メッセージが投げられた、猪股裕佳さんと猪股裕理さんが登場し、ファンファーレが響くなかタイムカプセルが開封される

と、会場からは大きな拍手が送られました。開封されたその他のメッセージは会場内に展示され、多くの人が足を止め、見入っていました。会場では、ステージ発表やミニワークショップ等も行われ、にぎわいを見せていました。若林区では10月にオンラインで開催。区民の方々の合唱やダンスなどのステージ発表や、団体の活動紹介などを配信したほか、区内を巡るスタンラリーも実施し、参加者はまち歩きをしながら区内の魅力を楽しみました。

泉区と宮城地区では、10月末から11月上旬にかけて、イルミネーションイベントを実施。泉区では七北田公園内の樹木を、宮城地区では総合支所などの敷地をライトアップしました。泉区では地域の方が願いを書いた短冊を取り付けたランタンの打ち上げイベントや、宮城地区ではキャンドルイベントも開催し、会場に訪れた人たちは、色とりどりの明かりがともる幻想的な空間を楽しみました。

宮城野区では11月に区民まつりの雰囲気を感じられる、動画や写真を掲載した特設サイトを公開。区にちなんだ問題に答える、参加型のクイズ企画を12月28日まで実施しています。今後、太白区でも代替イベントを開催する予定です。

市政トピックス

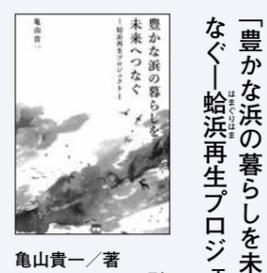
市政トピックス

優れた技能と長年の功績をたたえて

市では、長年にわたり優れた技能で市民生活を支え、まちづくりの基礎を築いてきた技能職の方々の技能功労者として表彰しています。11月8日に行われた表彰式では、25職種40人の方々が表彰されました。表彰された方は次のとおりです(順不同・敬称略)。

- 〔石工〕三塚守〔印刷製本職〕高橋抄子、笛勝行、山田忠義
- 〔屋外広告美術職〕門間秀規〔菓子製造職〕佐藤常夫〔クリーニング師〕阿部守吉〔左官職〕相良正
- 〔写真師〕大沼枝美子〔鍼灸マッサージ師〕大沼枝美子
- 〔造園職〕伊藤英喜、鎌田浩〔大工職〕後藤文夫、伊藤幸夫、阿邊一弘〔畳職〕松本高司〔建具職〕庄子功也〔調理師〕平山友洋、千葉光博〔電気工事職〕大友幸作、庄子実、春山俊和
- 〔豆腐製造職〕上村修治〔塗装職〕佐々木利幸〔とび職〕中野清美、長崎司、吉田浩幸〔配管職〕大村好浩〔板金職〕嶺岸隆幸、大沼幸夫
- 〔美容師〕佐藤次男、叶照子〔ボイラー整備士〕櫻井正春
- 〔理容師〕平山きぬ子、鎌田光雄
- 小山博子〔フローリスト技能士〕村上和一〔鉄筋工〕佐藤圭一〔解体工〕庄子重美、甘木英壽

3.11震災文庫



豊かな浜の暮らしを未来へつなぐー蛤浜再生プロジェクト



大きな災害を目の前にして、無力感にとらわれた人も多くいました。一方で震災により顕在化した社会課題を目的に、市民の動きにも注目が集まっています。

東日本大震災を語り継ぐための市民図書館に設けた「3・11震災文庫」。所蔵する約1万冊からよりすぐりの本を、紹介します。

私たち一人ひとりができること
一般社団法人Granny Rideto
代表理事 桃生 和成

宮城県石巻市にある蛤浜は、2世帯のみが暮らす小さな集落です。豊かな海と森に囲まれた蛤浜でサステイナブルな地域を実現するために、著者の亀山貴一さんは、古民家を改装し小さなカフェ「はまぐり堂」を開きます。

本書は、東日本大震災以降の10年に及ぶはまぐり堂の取り組みをまとめた一冊です。理想の実現に向けて、仲間との出会い、資金の調達、イベントの企画・運営などさまざまな体験をありのままに綴っています。

今も日本のどこかで起きている自然災害。そこから人はどう立ち直るのか。はまぐり堂のチャレンジが教えてくれます。

大きな災害を目の前にして、無力感にとらわれた人も多くいました。一方で震災により顕在化した社会課題を目的に、市民の動きにも注目が集まっています。

貧困、差別、環境問題、コロナウイルスなど私たちは今でも何かしらの社会課題を突き付けられています。著者の加藤哲夫さんは、長年、市民による主体的な活動が社会を変えることを信じ、市民活動に関わってきました。本書では人と人がどうつながるか、それがどのような影響を社会にもたらすのか、加藤さんの実体験をもとに伝えてくれます。

紹介した本は、市民図書館でご覧いただけます 問市民図書館 ☎261・1585